教科目名　哲学特論Ⅱ（Special Lecture on Philosophy Ⅱ）

**学科名・学年**　：全専攻２年

**単位数など**　：選択　２単位（後期１コマ，学習保証時間 22.5 時間）

**担当教員**　：堀　栄造

**授業の概要**

現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサールの創始した現象学は，意識による世界の志向的構成を研究する認識論であるとともに，また，意識が構成した世界を土台として学問が構築されるさまを研究する学問論でもある．したがって，フッサールの現象学に学びながら，科学の学問論的位置づけや学問論的意義を考察する．前半は講義形式をとり，後半は著作講読を輪番制で行う．授業全般を通じて質疑応答などを通して相互に発言し合う機会を多く設け，活発な議論の展開となるように努める．

**達成目標と評価方法**　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

(1) フッサールの現象学は先験的（超越論的）意識の次元による経験的世界および理念的世界の基礎づけであるということを考察することによって，科学の学問論的位置づけや学問論的意義を理解する．（定期試験）

(2) フッサールの著作の講読によって哲学的文章を通して西洋的思考および西洋的文化に直接接し，地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける．（定期試験）

| 回 | 授業項目 | 内容 | 理解度の自己点検 |
|---|---|---|---|
| 1 | 「立体的超越論化」としての超越論的還元 | ○「平面的純粋内在化」と「立体的超越論化」の区別について理解できる | 【理解の度合い】 |
| 2 | 再現前化から再生への空想概念の転換 | ○再現前化から再生への空想概念の転換について理解できる | |
| 3 | 「内的空想」という概念への到達 | ○「内的空想」という概念への到達について理解できる | |
| 4 | 「再生」と「空想における反省」 | ○「再生」と「空想における反省」について理解できる | |
| 5 | フッサール著『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』の講読 | ○ガリレイによる自然の数学化について理解できる | |
| 6 | | | |
| 7 | 同上 | | |
| 8 | 後期中間試験 | | 【試験の点数】　点 |
| 9 | 後期中間の解答と解説<br>フッサール著『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』の講読 | ○自然科学の意味基底としての生活世界について理解できる | 【理解の度合い】 |
| 10 | | ○「平面的生」と「奥行の生」について理解できる | |
| 11 | 同上 | ○客観的論理的アプリオリと生活世界のアプリオリとの間の原理的区別について理解できる | |
| 12 | 同上 | | |
| 13 | 同上 | | |
| 14 | 同上 | | |
| 15 | 後期期末試験 | | 【試験の点数】　点 |
| | 後期期末試験の解答と解説 | | |

| | | |
|---|---|---|
| **履修上の注意** | ノートをしっかり取り，積極的に発言すること． | 【総合達成度】 |
| **教科書** | プリント配布． | |
| **参考図書** | 堀栄造著，『フッサールの現象学的還元』，晃洋書房，2003 年． | |
| **関連科目** | 哲学特論Ⅰ，哲学概説，思想史，倫理． | |
| **総合評価** | 定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする． | 【総合評価】　点 |